

KORG POLY800

PROGRAMMABLE POLYPHONIC SYNTHESIZER KORG POLY-800



す
ご
い
ラ
イ
ト
で
も
で
き
る
ポ
リ
シ
ン
セ



Step Into Tomorrow's Music

KORG[®]

とってもライトにコストパフォーマンスしてるポリフォニックシンセサイザーです。

¥99,800

コルグが実現した世界初の超コストパフォーマンスポリシセ。
8ボイス、エディット機能付きの64メモリーに加え、
テープインターフェイス、ポリシーケンサー、MIDI端子を装備。
まさに機能満載のKORG POLY 800。
しかも、ピッチの安定性に優れた2系統のDCO、
3系統のDEGを装備し、
さらに6パラメーターのエンベロープで多彩な音づくりができる
新開発のA.D.B.S.S.R.方式を採用。

リアルな音が楽しめます。
そのうえ、完璧なライブパフォーマンスを演出する
ショルダーキーボードとしても使い、
楽しさ使いやすさを2倍、3倍に広げられる
ポリフォニックシンセサイザーです。



おやつ、
シンセがパソコン
とつながってる。
これならいろいろ
できそう。

MIDI
MIDIとは MUSICAL INSTRUMENT DIGITAL INTERFACEの略。シンセサイザー、シーケンサー、パーソナルコンピュータ(プログラムマシン)などを相互に接続するためのものです。
MIDI端子のついた製品であれば、11キーデータ2ジョイスティック (3)シーケンサー (4)プログラムマシンなどを相互に接続するためのものです。
MIDI端子のついた製品であれば、11キーデータ2ジョイスティック (3)シーケンサー (4)プログラムマシンなどを相互に接続するためのものです。
MIDI端子のついた製品であれば、11キーデータ2ジョイスティック (3)シーケンサー (4)プログラムマシンなどを相互に接続するためのものです。

すごいライトでも
できるヤツ。
できてるすべてを
紹介します。

- 1 **VOLUME** ボリューム
電源のON/OFFと音量を調整するスイッチです。
- 2 **TUNE** チューン
ピッチを調整するスライドスイッチです。
- 3 **JOYSTICK** ジョイスティック
左右に動かすと鍵盤全体のピッチが上下します。上に動かすとDOOを調整しテーパー効果音が、下に動かすとVCFを調整しワウワウ効果音がわかります。

- 4 **BEND** ベンド
ジョイスティックによってかかるピッチベンドの度合いを調整するスライドボリュームです。
- 5 **SEQUENCER** シーケンサー
POLY-800を和音で自動演奏させるためのポリフォニックシーケンサーで、最大256ノートまで演奏させることができます。
- 6 **KEY ASSIGN** キーアサイン
A POLY #1
または音 (DOUBLEモード) までの和音構成をメモリーし、ワンタッチで平行和音演奏させるモード。
B CHORD MEMORY コードメモリー
鍵盤上で押された和音 (WHOLEモード) または音 (DOUBLEモード) までの和音構成をメモリーし、ワンタッチで平行和音演奏させるモード。
C HOLD キールド
POLYモードのとき、打鍵した音が出たままの状態になるモード。

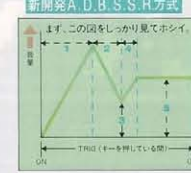
- 7 **PROGRAMMER** プログラマー
11-88の2桁のナンバーで、合計164のプログラムを選択できます。
D PROG/PARA プログ/パラ
プログラムモードとパラメーターモードを選択するスイッチです。
E SAVE セーブ
F LOAD ロード
テープインターフェイスでプログラムの内容やシーケンサーのデータをカセットテープなどに録音し、スロット1に挿し出し戻すためのスイッチです。
G VERIFY ベリファイ
セーブ後、プログラマーのデータがテープに正しく録音されているかを確認するためのスイッチです。
H CANCEL キャンセル
ロード、ベリファイが誤ってした場合、このスイッチを押す、再び操作します。また、セーブ、ロード、ベリファイの操作を途中で中止させることができます。

- I WRITE ライト
プログラムにデータを書き込むためのスイッチです。
J VALUE バリュー
UPスイッチ、DOWNスイッチによって、バリュー (各パラメーターのセッティング) を表す数字を設定します。
K BANK HOLD バンク ホールド
プログラムモードのとき、このボタンを押すとプログラムナンバーの左側の数字がホールドされ、右側の数字がカウントされます。
L INDICATOR インディケーター
M DCO1,2
DOOは、DOO1に設定してプログラムに選んで半音ずつピッチを変えることができます。インディケーターを数字で表わします。

- N MODE モード
POLY-800の8ボイスで演奏するときはDOUBLEモードに切換えます。
O NOISE ノイズ
ポワントノイズ
P VCF
24dB/OCTの高性能フィルターを内蔵。鍵盤を押すとLTCFが働くレゾナンス、LTCFに鍵盤を押したときだけVCFが働くシンクルとの、トリガーモード切換えが可能です。また、鍵盤の信号に比例してカットオフ周波数も変化するキーボードトラック、DEGの出力を反転調整できるEGモード切換えも可能です。
- R DEG1,2,3
エンベロープに新開発のA.D.B.S.S.R.方式を採用。従来のA.D.S.R.に比べ、ピアノの音や弦を弾いたときの音もリアルに再現できます。また、11パラメーターにTEGを装備しているため、レゾナンスやピッチに似た立ち上がりやトリガーの音を同時に出すことが可能です。
S MG
DOOとVCFを調整するモジュレーションジェネレーターです。DOOを調整するとヒートプレート、VCFを調整するとワウワウ効果音がわかります。
T MIDI ティ
POLY-800をパーソナルコンピュータや、MIDI端子のついた他のシンセサイザーなどと接続して使うことができます。

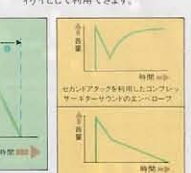
- 4 同じ音階でそれぞれの音を書き込みます。
5 1の音階は、鍵盤を押さずにSTEPスイッチだけを4回押します。(16分休符×4)
6 すべての書き込みが終わったら、START/STOPスイッチを押します。
7 リバネルのWRITEスイッチをDISABLEにします。

おつ、新しい。
音づくりもますます
多彩になる
6パラメーター。



- 1 **ATTACK** アタックタイム
打鍵してから音量が最大になるまでの時間を調整します。
- 2 **DECAY** デカイタイム
アタックタイム終了後からサステインレベルまで音量が下がる期間の時間を調整します。
- 3 **BREAK** ブレイクポイント
アタックタイム終了後のレベルポイントを決める新しいパラメーターです。ディケイタイムに従って減衰して行く音量を調整。また、ブレイクポイントとサステインを一致させれば、従来のA.D.S.R.と同じになります。

やったね。
和音の自動演奏が
できるんだって。



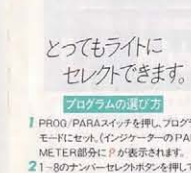
- 4 **SLOPE** スロープタイム
ブレイクポイントレベルとサステインレベルの音階差 (スロープ) を高たすまでの時間を調整する新しいパラメーター。ブレイクポイントよりサステインレベルが高い場合、セカンドアタックとして、またサステインレベルが低い場合は、セカンドディケイとして利用できます。
- 5 **SUSTAIN** サステインレベル
スロープタイム後、鍵盤を押したときその音階に続く音量を調整します。
- 6 **RELEASE** リリースタイム
鍵盤後に音が消えるまでの時間を調整します。

これでもうできる
思いのままにポリシセ。

- 1 **WRITE** ライト
プログラムにデータを書き込むためのスイッチです。
2 **PROG/PARA** プログ/パラ
プログラムモードとパラメーターモードを選択するスイッチです。
3 **VALUE** バリュー
UPスイッチ、DOWNスイッチによって、バリュー (各パラメーターのセッティング) を表す数字を設定します。
4 **BANK HOLD** バンク ホールド
プログラムモードのとき、このボタンを押すとプログラムナンバーの左側の数字がホールドされ、右側の数字がカウントされます。
5 **INDICATOR** インディケーター
6 **PARAMETER INDEX** パラメーター インディケーター
音階、音色、音量など、音づくりするための要素をパラメーターといひそれぞれのセッティングを数字で表わします。
7 **DCO1,2**
DOOは、DOO1に設定してプログラムに選んで半音ずつピッチを変えることができます。インディケーターを数字で表わします。

- 1 PROG/PARAスイッチを押す。プログラムモードにセレクト。(インジケーターのPARAMETER部分にPが表示されます。)
- 2 1-88のナンバーにセレクトボタンを押して、11-88までの64種類からプログラムナンバーを選びます。
- 3 WRITEスイッチを押す。
- 4 VALUEセクションのUP、DOWNスイッチを押してバリューを調整します。
- 5 どのパラメーターのセッティングが終わったら、3と4の操作をくり返して、他のパラメーターのセッティングし、音づくりをします。

おつ、新しい。
音づくりもますます
多彩になる
6パラメーター。



- 1 **ATTACK** アタックタイム
打鍵してから音量が最大になるまでの時間を調整します。
- 2 **DECAY** デカイタイム
アタックタイム終了後からサステインレベルまで音量が下がる期間の時間を調整します。
- 3 **BREAK** ブレイクポイント
アタックタイム終了後のレベルポイントを決める新しいパラメーターです。ディケイタイムに従って減衰して行く音量を調整。また、ブレイクポイントとサステインを一致させれば、従来のA.D.S.R.と同じになります。

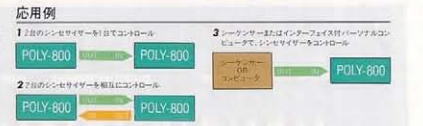
これでもうできる
思いのままにポリシセ。

- 1 **WRITE** ライト
プログラムにデータを書き込むためのスイッチです。
2 **PROG/PARA** プログ/パラ
プログラムモードとパラメーターモードを選択するスイッチです。
3 **VALUE** バリュー
UPスイッチ、DOWNスイッチによって、バリュー (各パラメーターのセッティング) を表す数字を設定します。
4 **BANK HOLD** バンク ホールド
プログラムモードのとき、このボタンを押すとプログラムナンバーの左側の数字がホールドされ、右側の数字がカウントされます。
5 **INDICATOR** インディケーター
6 **PARAMETER INDEX** パラメーター インディケーター
音階、音色、音量など、音づくりするための要素をパラメーターといひそれぞれのセッティングを数字で表わします。
7 **DCO1,2**
DOOは、DOO1に設定してプログラムに選んで半音ずつピッチを変えることができます。インディケーターを数字で表わします。

- 1 PROG/PARAスイッチを押す。プログラムモードにセレクト。(インジケーターのPARAMETER部分にPが表示されます。)
- 2 1-88のナンバーにセレクトボタンを押して、11-88までの64種類からプログラムナンバーを選びます。
- 3 WRITEスイッチを押す。
- 4 VALUEセクションのUP、DOWNスイッチを押してバリューを調整します。
- 5 どのパラメーターのセッティングが終わったら、3と4の操作をくり返して、他のパラメーターのセッティングし、音づくりをします。

KORG POLY 800

PROGRAMMABLE POLYPHONIC SYNTHESIZER KORG POLY-800



おつ、新しい。
音づくりもますます
多彩になる
6パラメーター。



- 1 **ATTACK** アタックタイム
打鍵してから音量が最大になるまでの時間を調整します。
- 2 **DECAY** デカイタイム
アタックタイム終了後からサステインレベルまで音量が下がる期間の時間を調整します。
- 3 **BREAK** ブレイクポイント
アタックタイム終了後のレベルポイントを決める新しいパラメーターです。ディケイタイムに従って減衰して行く音量を調整。また、ブレイクポイントとサステインを一致させれば、従来のA.D.S.R.と同じになります。

やったね。
和音の自動演奏が
できるんだって。



- 4 **SLOPE** スロープタイム
ブレイクポイントレベルとサステインレベルの音階差 (スロープ) を高たすまでの時間を調整する新しいパラメーター。ブレイクポイントよりサステインレベルが高い場合、セカンドアタックとして、またサステインレベルが低い場合は、セカンドディケイとして利用できます。
- 5 **SUSTAIN** サステインレベル
スロープタイム後、鍵盤を押したときその音階に続く音量を調整します。
- 6 **RELEASE** リリースタイム
鍵盤後に音が消えるまでの時間を調整します。

これでもうできる
思いのままにポリシセ。

- 1 **WRITE** ライト
プログラムにデータを書き込むためのスイッチです。
2 **PROG/PARA** プログ/パラ
プログラムモードとパラメーターモードを選択するスイッチです。
3 **VALUE** バリュー
UPスイッチ、DOWNスイッチによって、バリュー (各パラメーターのセッティング) を表す数字を設定します。
4 **BANK HOLD** バンク ホールド
プログラムモードのとき、このボタンを押すとプログラムナンバーの左側の数字がホールドされ、右側の数字がカウントされます。
5 **INDICATOR** インディケーター
6 **PARAMETER INDEX** パラメーター インディケーター
音階、音色、音量など、音づくりするための要素をパラメーターといひそれぞれのセッティングを数字で表わします。
7 **DCO1,2**
DOOは、DOO1に設定してプログラムに選んで半音ずつピッチを変えることができます。インディケーターを数字で表わします。

- 1 PROG/PARAスイッチを押す。プログラムモードにセレクト。(インジケーターのPARAMETER部分にPが表示されます。)
- 2 1-88のナンバーにセレクトボタンを押して、11-88までの64種類からプログラムナンバーを選びます。
- 3 WRITEスイッチを押す。
- 4 VALUEセクションのUP、DOWNスイッチを押してバリューを調整します。
- 5 どのパラメーターのセッティングが終わったら、3と4の操作をくり返して、他のパラメーターのセッティングし、音づくりをします。

